

Limited
SUKEBE
Works
in **CB**

ス
ケ
ベ
の
団

R-18



これは旅の記録：
誰にも言えない
ぼくの記憶：

旅人さん
男装はこの国では
重罪です

この国の女性は
皆娼婦としての
資格を取る義務が
あります

それは旅人さんも
例外ではない：
入国の際に承諾
していただいた筈です

旅人さんには
死刑かもしくは
一級の娼婦資格を
取得するまでの
一週間のカリキュラムを
実践していただきます

資格の取得後は
自由となります

これは
まいったなあ…

睡眠薬を
飲まされてまで
暴かれるとは思って
いなかった

死刑は
嫌ですからね

この国のルールなら
従うほかないと
思っていますよ

何をされても
耐える自信は
あるけれど…

では一週間の
高級娼婦育成
カリキュラムを
実施いたします

なお育成の様子は
国営成人向け放送にて
配信されます

それは嫌だな…
凄く嫌だ…



催淫ガスの
噴射を開始します

少し嫌な予感が
してきた...

トク...トク...

モ...ア...レ...

媚薬ローションの
塗布を開始
してください

ひっ!?

身体が...熱いっ...
くすぐったい感覚が...
快感に変わって...っ

職員っ...さんっ
やっぱり...
どうにかして...んっ
一週間というのを...
短くっ...して...
もらえないかな...っ

駄目です
教育期間は
増えることは
あっても減ることは
ありません

ふっ

うっ!



初回の絶頂を確認

全教育行程の
進行度現在0.1%

媚薬の塗布を
続行します

「これか……」
「週間……？」

「まだ……5分……」
「冗談じゃな……？」



一週間の開発のあと
娼婦としての資格試験が
待っていた

驚くことに
娼婦としての
技術は何一つ
指導されなかった

その理由は
すぐにわかった

そう…手は後ろに
許可の無い自慰行為は
失格だよ

私を満足させることが
できれば合格だ

技術など無くとも
快感を求めて
本能的に男に
媚びたくなるんだ

犯されることを
期待して
舌を回し喉を開き
唾液をまぶす

よりペニスを
固くしてくれるよう
下品に身体を
開いてしまう

射精するよ
飲みなさい

そうだ
喉奥で搾って…
いい子だね

辛うじて残った理性は
最早羞恥心を産み出す
足手纏でしか無かった

子宮の疼きが
僕をただの
メスにさせるんだ

早く…僕を…
犯してくれませんか…っ

も…っ
がっ我慢…
できそうに
ないんです…っ



発情しきつた
ぼくの身体は
一突きされるたびに
絶頂を深めていった

うむ…華奢だが
流石旅人だ
締めりがいい

ポルチオは
どうだね？

んああっ♡

あ♡

はっ

んっ

んっ

はああーっ♡

んおっ♡

んっ

子宮がまるで
心臓のように
バクバクと鼓動し
全身から汗が吹き出す

羞恥心を感じながらも
腹の底から下品な
嬌声が漏れてしまう

セックスの快感は
無機的な触手の
比ではない

僕はその時
男に支配される
ことの喜びを
知ってしまった

注いでやろう
深くイッて
みなさいほら

う…おっ

ひああっ♡

あっ乳首っ
すぎっ♡

乳首は
好きかね？

かっ
かっ
かっ

かっ
かっ
かっ

んっ
んっ
んっ

旅人さん
同じ国には
3日しか滞在
しないのでは？

ええ：でも
その必要は
もう無いんです

この国に
いながらでも
旅はできるんですよ

果てまで…
気の遠くなる旅を
何度だって…♡